

No. 94
2018
11/23



はちおうじ

JR東労組
八王子地本
八王子地本
ホームページ
「東労組八王子」で検索



八地申7号 吉祥寺駅の駅業務委託及び旅行業移管に関する申し入れ 第1回交渉 吉祥寺駅の安全・サービスを守り抜こう！

八地申第7号第1回交渉を11月14日（水）に行いました。次回は11月26日に行います

1. 吉祥寺駅は乗車人員が14万人を超え京王井の頭線との乗換駅であり、中央線の大動脈の根幹を成す駅の役割を果たすために駅業務委託と旅行業移管については、現行の安全とサービスレベルを維持する施策とすること。

会社回答

施策実施後もグループ会社と一体となって線区全体で安全、サービスレベルの維持・向上を図っていく考えである。

組) 安全・サービスの維持・向上が図れる根拠は？

会) 本社や支社において社員がマイプロや各種委員会を通じて改善してきた。

JESSは、駅業務専門の会社である。

会社を設立し、5年間やってきているので問題はない。

要員を含め逼迫しているという認識はない。

機械化やシステム化を進め、現状で対応出来る。

組) この間グループ会社との間で契約の不履行はなかったのか？

会) グループ会社からは半年に1回、数ヶ月に1回の報告がある。5年間不履行はない。

組) **エルダー社員の雇用の場の確保は？**

会) **もちろんある。エルダーの管理者の雇用の場の確保である。**

組) グループ一体となって安全・サービスレベルが維持・向上出来る根拠は？

会) JESSやラインモール間で合同訓練や情報伝達を行っている。

組) JRの安全文化は30年の歴史の中で築かれたものである。JESSの安全文化は同等なのか？

会) JESSの安全文化は劣っていない。

組) **委託によって安全とサービスレベルは低下が見込まれる。施策の中止・見直しを考えるべきだ！**

会社設立から5年経過していることが
安全・サービスレベルを維持・向上
出来る根拠にはならない！
対立！

2. 株式会社JR東日本ステーションサービス（以下JESS）と、株式会社びゅうトラベルサービス（以下VTS）が、本体からの出向者に依存せず独立して運営できる時期を明確に示すこと。また、将来的に独立して運営していくことが難しいと判断した場合は、JR本体の運営へと戻すこと。

会社回答

就業規則に則り取り扱うこととなる。なお、施策実施後においてもグループ会社と一体となって業務運営に必要な要員の確保や生産性向上に取り組んでいく考えである。

組) 出向者は要員に入れるべきではない。

十分な体力があるというのであれば、単体として運営するべきだ。

会) 出向者は3年であるが、社会環境の変化によって変動がある。

新規採用の關係に左右される。

組) JESSで完結できるようになる必要がある。出向者に依存するべきではない。

会) 出向者に依存しない。

出向者はあくまでも教育担当・技術指導として考えている。

組) 出向者の教育担当は要員に入るのか？

会) 要員を増やすことは生産性向上にならない。教育と生産性向上を一緒に考えていくことが必要である。

組) JESSとVTSが単体として運営出来るまでにどのくらいの時期を予定しているのか。

会) 明確に言えない。

組) **VTS単体として運営が難しいと判断された場合は本体に戻すべきである。**

会) **VTSとして判断をしていくこととなるが、戻すことは今議論できないし、現段階では本体に戻すことは考えていない。**

単体運営が出来る時期が
不明確の施策などあり得ない！
対立

安全で安心して業務が出来る営業職場を創り出そう